

令和5年度第4回福岡県医療対策協議会 議事要旨

【1】 会議の開催日時及び場所

開催日時：令和5年11月10日（金）15：00～16：00

場 所：県庁行政棟10階 特9会議室

【2】 出席委員（敬称略）

蓮澤 浩明、中村 雅史、野村 政壽、小川 正浩（岩崎 昭憲委員代理）、
江頭 啓介、堤 康博、田中 眞紀、下河邊 正行、中島 寅彦（岩崎 浩己委員代
理）、内山 明彦、一宮 仁、武富 章、井上 利一、矢野 八重子

【3】 議事概要

1 医師の働き方改革について

（1）特定労務管理対象機関の指定について（協議）

（2）医師の働き方改革に関する本県の現状について（報告）

以下の資料に基づき事務局より説明。各委員の意見は、以下のとおり。

「特定労務管理対象機関の指定」について、事務局案が承認された。

- 【資料1（1）】 特定労務管理対象機関の指定について
- 【資料1（1）別添1】 評価センターによる評価結果について
- 【資料1（1）別添2】 新医療法に基づく特定労務管理対象機関の指定要件
- 【資料1（2）①】 特定労務管理対象機関の指定に係る手続状況
- 【資料1（2）②】 宿日直許可の取得状況について
- 【資料1（2）参考資料】 県への指定申請に係るスケジュール（令和5年度）

（委員）

医療機関勤務環境評価センターの評価結果が5体系でなされ、【資料1（1）別添1】1の4又は5に該当する場合は、慎重に議論をする必要があるという趣旨の説明であった。今回指定申請においては、4又は5に該当する医療機関はなかったとのことであるが、いずれの評価結果であっても、丁寧な議論をお願いしたい。

2 福岡県医師確保計画の見直しについて（協議）

以下の資料に基づき事務局より説明。各委員の意見は、以下のとおり。

「第8次（前期）福岡県医師確保計画の素案」について、事務局案が承認された。

- 【資料2-1】福岡県医師確保計画の見直しについて
- 【資料2-2】第8次（前期）福岡県医師確保計画の素案
- 【資料2-2（別添）】今回説明事項について

（委員）

第8次福岡県保健医療計画の素案のうち、周産期医療圏の変更を含む周産期医療部分については、本協議会ではなく、福岡県周産期医療協議会における議論を経て、医療計画部会及び医療審議会に諮られるとの説明であった。当該協議会において十分に議論され、理解の上で変更がなされるものであると思料するが、相対的医師少数区域に該当する周産期医療圏がなくなることで、問題がなくなったと思われかねないことについて、留意が必要であると考ええる。

また、周産期医療圏の設定と、病床の整備を図るべき地域的単位である二次保健医療圏の設定は、異なるものであることについて、誤解を招くことがないように、留意が必要であると考ええる。

（委員）

二次保健医療圏によっては、他の二次保健医療圏からの患者流入増が問題になっているという話もある。周産期医療圏を4つに見直すということについては、該当する行政の方々にもしっかり認識していただいて、行政同士でうまく連携ができるようにしていただきたい。

（事務局）

周産期医療圏の見直しは、ハイリスク分娩に対して高度な医療を適切に提供できる体制の整備に努めることを趣旨としたものであるが、各二次保健医療圏における分娩取扱施設の維持確保については、継続実施することで変わっていない。

福岡県周産期医療協議会において十分に議論をいただいた上での見直しであるが、本協議会における意見も踏まえ、関係機関に対し、丁寧に説明していく。

3 臨床研修における外国人留学生の受け入れについて（報告）

以下の資料に基づき事務局より説明。

- 【資料3】 臨床研修における外国人留学生の受け入れについて

4 その他（報告）

以下の資料に基づき事務局より説明。

- 【資料4】 福岡県医療対策協議会の開催予定について

以上